

NP-5A

取付仕様書

<http://www.to-conne.co.jp>

適合ケーブル

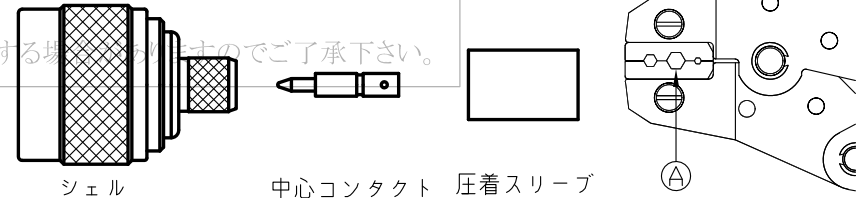
5D-2V EM-5D-2E

専用圧着工具
TA-35
(本体表示:53-8242)

図番 S-0511274

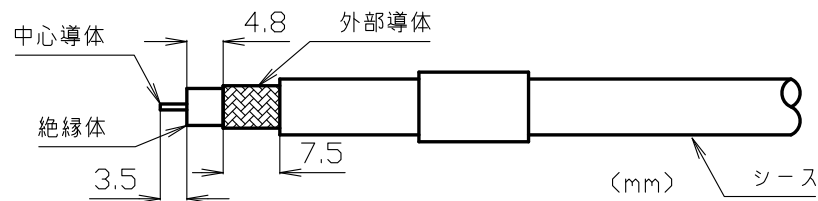
本書類の内容は、取付時のみならず、変更・廃盤にする場合も、必ずご確認ください。

部品構成

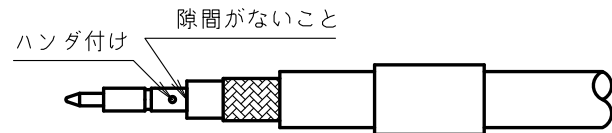


 株式会社 トーコネ
TO-CONNE CO.,LTD.

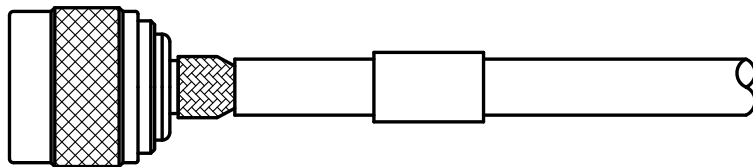
作成	確認



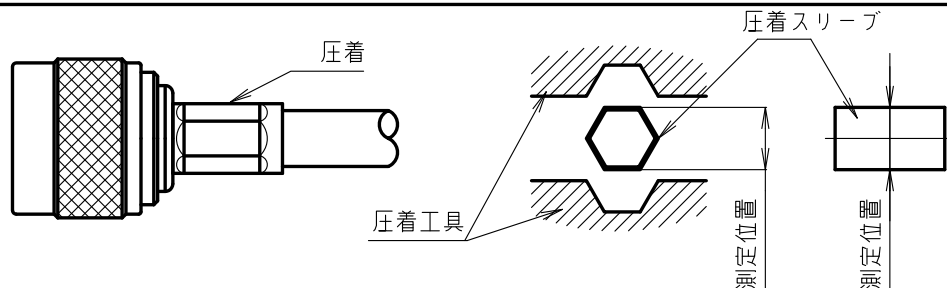
- ① 同軸ケーブルへ圧着スリーブを通し、シース、絶縁体、外部導体を図中の寸法で切りとる。



- ② 中心導体に中心コンタクトを装着し、半田付けする。半田が盛り上がらないよう、絶縁体と中心コンタクトの間に隙間が無いよう注意しながら半田付けを行う。半田付け後、中心コンタクトを軽く引張り、抜けないことを確認する。



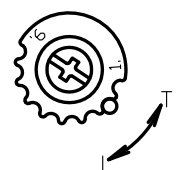
- ③ シェルを同軸ケーブルと絶縁体と外部導体の間に装着する。(この時プチンと中心コンタクトが定位置に入ったことを確認する。)



- ④ 装着が終わったら、圧着スリーブを図の位置まで上げて圧着工具のA部で圧着して作業を完了する。

この時、図中の位置で寸法を測定し、クリンプ高さにより工具の強度調整用ダイヤルを設定して下さい。

強度調整ダイヤル



測定位置でのクリンプ高さ8.35~8.50mm

◆TA-35をご使用の場合は、別紙「TA-35圧着工具 ご使用上の注意」を必ずお読みください。

2014.11.07

TA-35圧着工具 ご使用上の注意

(本体表示：53-8242)



株式会社 トーコネ
TO-CONNE CO.,LTD.

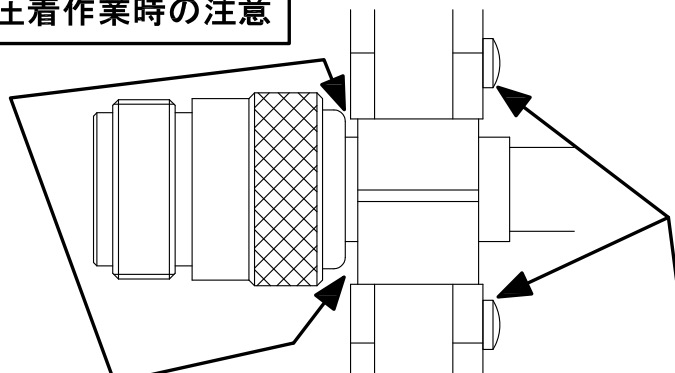
作成 確認

Reference Only

◆TA-35圧着工具をご使用の際は、下記に注意してご使用ください。
コネクタの形状により、圧着工具の部位が接触しコネクタにキズがつく場合があります。

本書類の内容は、改良等のため予告なく変更・廃盤にする場合がありますのでご了承下さい。

圧着作業時の注意

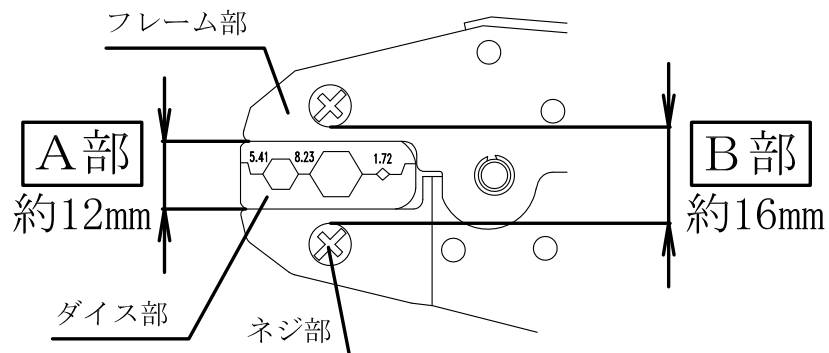


① フレーム部に当たらないように
ダイスとの隙間に注意 **※注1**

② ネジ部に当たらないように注意

A部

ダイス幅よりもフレーム部の幅が大きく、コネクタの圧着部付近が下記寸法よりも大きいコネクタは接触しないよう注意が必要です。

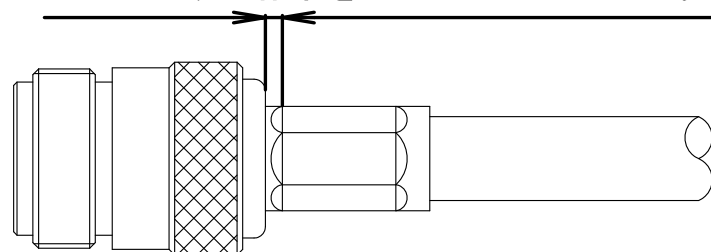


B部

圧着部付近が16mmを超えるコネクタは圧着工具のネジ部が当たらないように、向きを変えて作業してください。

※注1

仕上がり状態で、下記範囲が1.5mm以下になるように作業をおこなってください。



フレーム部は両面共に注意すること

仕 様 書

品 名 NP-5A

No. 0510456

図 番 S-0511274

株式会社トーコネ

定 格 1 参考規格 JIS-C5411
 2 定格電圧 AC 500V
 3 定格周波数 10 GHz
 4 公称インピーダンス 50Ω

確 認	検 印	作 成

項 目	条 件	規 格
1	構造及び形状寸法 材 質 (図番 S-0511274) 仕上げ及び表示	異常のないこと
2		
3		
4	絶縁抵抗	DC 500V 1000MΩ以上
5	耐電圧	AC 1000V 1分間 異常のないこと
6	接触抵抗	接触間の電圧降下は、約1KHzの交流又は直流で1mVを越えない方法にて 3mΩ以下
7		
8	互換性	規格に準ずるコネクタと結合したとき異常なく結合すること
9	ケーブル接続強度	軸方向引張力 約147N以上 異常のないこと
10	結合部接続強度	軸方向引張力 約294Nを加えたとき 接続ナットに異常のないこと
11	繰り返し動作	5000回の抜き差し後 接触抵抗は10mΩ以下

20151030

変更履歴	日 付
1	
2	
3	